

4月の改選後初めての定例会では、議長・副議長選挙を行い、各役職を決定しました。木下は、常任委員会は総務委員会、特別委員会は調布飛行場等対策特別委員会に配属されました。

引き続き一人会派「生活者ネットワーク」として活動します。ご意見やご提案を御寄せください。



上程時質疑

毎年第2回定例会では、市長から監理団体の経営状況について報告がある。監理団体は、市の補助金や指定管理料で委託事業や施設管理を行っている。10年の契約のうち4年が経過し、昨年12月に行われた第三者評価で指摘があった課題への今後の展望や、インボイス制度への対応などについて質疑を行った。

補正予算第2号に賛成



東京都の補助事業2つを審査した。

- ① 自転車用ヘルメット購入助成など 120万円余
対象店舗で購入する際に申請書を提出
ヘルメット1つ当たり助成額は2,000円
- ② 妊婦健診時の超音波検査の助成を4回に拡充
(現在は1回) 2,499万円余
4月1日以降に妊娠届を出した方を
対象に、7月上旬からクーポンを送付



主な条例改正

● 賦課徴収条例改正に賛成

税に関する3つの項目について改正があった。

- ① 森林環境税：2024年4月より、新たに国税の森林環境税（納税義務者一人あたり1,000円）が課される。（2014年から10年間、防災対策の財源として1,000円増税となっていた個人住民税均等割が終わるため、負担額は変わらない）森林環境税は森林保全を目的とした税で、国の定めた基準にしたがって全国の自治体に配分される。すでに2019年度より、森林環境譲与税は国の財源から配分されており、調布市では保育園の木製パーゴラや学校体育館の床や壁の木材に充当してきた。所得に関わらず市民が負担する貴重な税金であるため、市内の緑地保全など、使い道の拡充を国に求めるとともに、市民の納得を得られる用途に使うよう要望して賛成した。

- ② 改正道路交通法の一部施行により、「特定小型原動機付自転車」（＝基準を満たす電動キックボード等）に関する内容を追加。
- ③ 管理不全となっているマンションのうち、修繕積立金が認定基準未満のものについて、それを認定基準以上に引き上げ、2025年3月末までに長寿命化工事を完了したものを対象に、建物分の固定資産税を1/3減額。

陳情

8つの陳情を審査した。

陳情第5号 非核平和宣言都市調布市として「航空自衛隊府中基地の核攻撃に備えた強靱化工事の理由と内容の説明と工事の中止を国に求める意見書」提出に関する陳情（趣旨採択）
審査結果：不採択



閣議決定された安保3文書に基づき、日本中の基地を電磁パルス攻撃から守るための工事が予算化され、府中市の基地も含まれている。日本は憲法に戦争放棄を明記しており、戦争を起こさない、起こさせないために平和外交に力を入れることを宣言している。核攻撃を含む武力攻撃を想定した具体的な工事が隣り町で行われることに不安や抵抗を感じる市民感情は十分共感できる。

若干、陳情内容の精査が必要と考え趣旨採択としたが、この工事は日本の平和のために必要であるという主張が大多数を占め、不採択となったことに強い危機感を覚える。

陳情第7号 調布市一般会計の歳出を市報ちょうふや市議会だよりなどに掲載する場合、民生費の内訳も掲載することを求める陳情（趣旨採択）
審査結果：不採択



現在、予算や決算は審査後の市報と市議会だよりで報告しているが、民生費などの予算項目の内訳は記載していない。一方、詳細は参考資料の「市政経営の概要」に記載があり、市報でも案内されている。「市政経営の概要」は非常に充実した内容となっていることから、より多くの市民の目に触れるよう、分かりやすい案内を求め、陳情には趣旨採択を求めた。

納税者として市の財政に関する詳細情報を求めることは理解できるものであり、不採択となったことは理解しがたい。



第3回定例会は9月4日に開会します。陳情書の提出締め切りは8月30日頃の予定ですので、提出を検討される方は早めにご相談ください。

